

姫路市議会 9月定例会 9月2日~10月2日開催

後期高齢者医療制度

すぐに中止を国に求めよ

手柄山中央公園の名称を「平和公園」に

日本共産党 姫路市議会報告

日本共産党 姫路市議会議員団

大脇和代、谷川まゆみ、森入江次郎

《連絡先》 市議会室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890

日本共産党 姫路市議会 ホームページ

http://www.jcp-himeji.com



大脇和代議員 一般質問

国保料、所得の15%を超えては払えません

小中一貫教育だけ急ぐのはやめよ

大脇和代議員は9月定例会本会議で原油高騰に苦しむ農水産・運輸等の中小零細業者への独自支援策、公務員・教職員の採用・昇進の透明化、駅南へのロックシテイ進出の問題点、国保料のひき下げ等5項目について質問し、改善を求めました。そのうち、3点についてポイントを紹介します。

年手遅れで死亡した人が5つの県で少なくとも41人、NHKスペシャルでは「全国2千の救急告示病院の調査で手遅れ死亡例475人、経済的理由で医療の保障から排除され、生命を失う例が広がっている」と報

後期高齢者医療制度について

高齢者から「長生きをす

NHKの調査によると昨

進めるしかない。

国保料について

進めるしかない。



森ゆき子議員 一般質問

液晶パネル工場に地元正社員雇用を

学童保育おやつ代復活を求めます

道。一人平均年1万2千円、世帯平均年2万円の国保料引き上げは所得300万円40代で子供2人の4人家族で、国保料と介護保険料の合計約51万円、これに年金、税金を加えると負担は100万円となり、所得は年200万円です。これで生活が成り立つのか、生存権としての食べることや子供の教育費に事欠く状況。政管や健保に比べ所得に対する割合は15%を超え最高の負担。これでは払えないため

き、また保険料引き下げのために、国庫負担の引き上げと、市の一般会計からの繰入金を増額すべきではありませんか。

問として尊重し学力を保障するには少人数学級、教育条件整備こそ緊急課題。①「なぜ先生が求めている小中一貫教育プログラムだけ急ぐのか」、理由として、小5と中1の学習意欲の低下や不登校、いじめ、問題行動の増加があげられているが姫路市では、昨年いじめ、不登校は低下している。学校規模や入試等もつと原因の調査が必要では。【答弁】不登校、問題行動は小規模校が少ない②「小中一貫と学校統廃合の関連は」

育園は7施設、71名を越す学童保育園は11施設あります。2008年5月現在の待機児童数は29名。厚生労働省は子どもの安全保障や情緒の安定からも大規模化を問題視しています。早急に対処を。また待機児童への対策はどのように考えておられるのですか。

への植民地支配と侵略は事実」と認めていることは1995年の村山見解でも明らかであり、日本軍の公式文書や数々の記録・証言にも記されている事実です。この映画は会場で戦争を賛美する団体への入会申込書を配るなど、戦争賛美のキャンペーンで、政治的な活動であるのは明らかです。「映画は文化」という観点から後援の条件を満たしているという考えだけで後援すべきではない、後援は

奨励金について。市民の正規雇用を約束させる施策にするべきです。尼崎の企業誘致の例を見ても解るよう、偽装請負などの問題が生じ、労働者の怒りが広がり、県は松下プラズマディスプレイに対し、直接の正規雇用に助成を限定するという方針を打ち出しています。県にならうべきではないでしょうか。

人口増加に伴う、高浜小学校の校舎の増設と、120名をこしている学童施設の増設を早急に取り組んで下さい。

史実歪める「南京の真実」

の上映後援を撤回し、慰霊塔の理念を広めるため、手柄山平和公園の名称を

撤回すべきです。また、手柄山にある「太平洋戦争全国戦災都市空爆者慰霊塔」の建設には、全国の戦災者への慰霊の思いが込められています。平和発信の地である手柄山慰霊塔に「手柄山平和公園」などの平和を連想させる名称をつけてください。

液晶パネル新工場立地は、地域住民のくらしをまもる形

児童数、百名を越す学童保

児童数、百名を越す学童保



手柄山中央公園で左から入江・大脇・谷川・森の各市議

日本政府が公式に「中国

液晶パネル新工場立地は、地域住民のくらしをまもる形

児童数、百名を越す学童保

児童数、百名を越す学童保

児童数、百名を越す学童保

国保の資格書発行やめ、子どもの無保険を無くせ

外堀川運河公園周辺 地形変状の原因 調査を県に求め、市の責任を果たせ

レジ袋削減は、目標を明らかにし、積極的なとりくみを求めます

偽装ラブホテルは立入調査を強化し、一掃を求めます

谷川まゆみ議員 厚生委員会



高齢者が安心できる保健福祉を 生保は相談が2千4件で申請は788件

九月十一日開催された厚生委員会において谷川まゆみ議員は、以下五項目について質問し、改善を求めました。

市民生活局からは、網干環境楽習センター新築工事の契約締結の件、レジ袋の削減に向けた取り組み、路上喫煙禁止制度における過料徴収（十月一日より）、高齢者保健福祉計画及び介護保健事業計画の策定等について、提案・報告がありました。

レジ袋の削減は、当初来年度からの取り組みとしていたものを、本年十一月一日から、十七事業者・六十七店舗で取り組むもので、削減目標を明らかにし、積極的に取り組むよう求めました。



来年度予算要望懇談会



教育シンポジウム

また、保健福祉計画等の策定にあたっては、実態調査を反映させ、高齢者が安心できるものになるよう求めました。

さらに、国保の資格証明書の発行についても、機械的に行うことなく、特に子どもの無保険証については、改善を求めました。

健康福祉局においては、偽装ラブホテル等についての報告がなされました。六月十六日まで、五十三件立ち入り調査を行いました。

また、生活保護については、昨年度二〇四四件の相談があり、七八八件の申請とのことでしたが、最後のセイフティ・ネットとしての権利を尊重するため、窓口対応をていねいに行うよう求めました。



入江次郎議員 建設委員会

コンサルのボーリング調査は一部だけ 河川公園の管理責任を果たせ

【入江議員】 市役所東側を流れる外堀川運河公園周辺の地形変状についてお伺いします。

外堀川は昭和56年と平成14年に姫路市が施行主として川底を掘る掘削工事が行われ、現在の護岸となり県にその管理が引き渡されました。

が、当時の掘削工事の影響と考えられる地盤変動による地形変状が、南は一の切橋から北は唐沢橋にかけて、河川公園、管理用通路、市道、あるいは民間建造物にかけて広範囲にわたって見られます。

県は要綱に基づき民間のコンサル会社に依頼し現地のボーリング調査を行い、調査依頼となっていない。

【入江議員】 河川公園の表面管理は姫路市が行っている。県が再調査の必要がないと言っているから要請はしない。

【建設局長答弁】 県が調査の必要がないと言っているのは再調査の要請はしない。

【入江議員】 県は不十分な調査報告のもとで結論を出している。県と同じ認識としない。

【委員長】 調査の要請については委員長、副委員長の一任ということよろしいか。

【各委員】 異議なし。



地盤変動の影響と思われる傾斜したJR南の住宅（今年9月に撤去）